

研究成果報告書 (掲載期間 2024. 11. 1-2026. 3. 31)

学術書

- (1) 鈴木繁聡他/牧野篤他 編:新たな社会教育像を描く, pp. 67-85, 博英社, 2025.

学術論文

- (1) 鈴木繁聡:公教育における「情報通信技術の活用」への民間事業者の参入に関する考察ー「教育データの利活用」に関する政策過程に着目してー, 大同大学教職教室研究紀要, 2025, pp. 20-43.
- (2) 鈴木繁聡, 鈴木草宮駒, 田中裕史:英国における Ofsted の新たな展開とその課題ー2025 年までの判定基準と主要評価項目に着目してー, 大同大学教職教室研究紀要, 2025, pp. 44-68.
- (3) 金亨善, 大磯恵子, 岡田卓朗, 鈴木繁聡, 詹瞻, 豊田明子, 林知里:公民館をめぐる政策の動向と 2023 年度全国公民館実態調査の概要(第 1 回), 月刊公民館, 821 号, 2025, pp. 41-46.
- (4) 林知里, 鈴木繁聡, 大磯恵子, 岡田卓朗, 詹瞻, 豊田明子, 金亨善:2023 年度全国公民館実態調査(第 2 回) 社会教育専門職への期待の高まりと配置, 養成, 活躍機会の現状, 月刊公民館, 822 号, 2025, pp. 41-48.
- (5) 岡田卓朗, 大磯恵子, 詹瞻, 豊田明子, 金亨善, 林知里, 鈴木繁聡:2023 年度全国公民館実態調査(第 3 回) 公民館のデジタル化:コロナ禍を経て考察する現状と課題, 月刊公民館, 823 号, 2025, pp. 41-46.
- (6) 金亨善, 豊田明子, 林知里, 鈴木繁聡, 詹瞻, 大磯恵子, 岡田卓朗:2023 年度全国公民館実態調査(第 4 回) 公民館と学校の連携:地域学校協働活動の現状と課題, 月刊公民館, 824 号, 2026, pp. 44-49.
- (7) 牧野篤, 豊田明子, 金亨善, 鈴木繁聡, 大磯恵子, 詹瞻, 岡田卓朗, 林知里:2023 年度全国公民館実態調査(最終回) 座談会 各設問テーマをつなぐ全体討議:拡大する期待と, 現場のリアリティのあいだで, 月刊公民館, 826 号, 2026, pp. 41-48.

学会発表

- (1) 田中裕史, 鈴木繁聡:イギリスの学校評価をめぐる現代的動向:Ofsted の監査官に着目して, 九州教育社会学会第 101 回九州教育社会学研究交流セミナー, 2025 年 3 月, 福岡.
- (2) Yasuhito TAMMA, Shigesato SUZUKI:Innovation and Evaluation of Community Social Education Facilities:A Comparative Study of Public-Private Partnerships and Citizen Participation in the UK and Japan, Wera Focal Meeting 2025, 2025 年 10 月, João Pessoa(Brasil).

科研費採択

- (1) 鈴木繁聡:23K18938, 研究活動スタート支援, 学校と学習塾の連携の日本的特質の検討:イングランドのアカデミーとの比較を通して, 2023 年 8 月~2025 年 3 月.